

(特非) みんなでつくる自然史博物館・香川

地域に根付いた次世代研究者育成事業

イベントの 延べ参加者数	169人
イベント参加者 の満足度	91.27%
活動の全体目標 に対する達成度	90%



平成 27 年 7 月 18 日里山の生きもの観察会

◆成果と工夫したポイント

●成果

全体的な感想は、①楽しい：96%、②ふつう：4%、③楽しくない：0%という評価をいただき、今後の参加希望に関しては、①参加したい：約96%、②わからない：約4%、③参加したくない：0%となった。

●工夫

参加者のリピート率を高め、次世代研究者の育成の確立を高めるために、スタンプカードを作成・配布した。

課 題

平成 27 年度香川県レッドデータブック改定等調査業務を進めているが、調査員の高齢化に伴い現地調査に支障が出始めているため、後継者を育てたい。

目 標

- ・生き物に触ることのできる子ども、興味・関心を持てる子ども、生き物を観察する子どもを増やす。
- ・地域住民や子どもたちに対して、自然保護活動の重要性と意義を学ぶ観察会を実施する。

活動内容

- ・香川県に共催事業としていただき、県下の小学校に観察会のチラシを郵送いただくなどの広報活動も分担・実施いただいた。
- ・香川大学にも協力をいただき、双眼実体顕微鏡やルーペなどの観察道具を貸し出した。
- ・当団体の会員に声かけをし、ボランティア補助スタッフを募集し、手伝っていただいた。



平成 27 年 8 月 1 日
川の生きもの観察会

達成できなかったこと

事務的な作業時間が確保できなかったため、参加者のその後の動向（自由研究の進展具合や、自主的なフィールドワークの有無）を調べたかったが、できなかった。

今後の展望

参加者の大半が小学校低学年であったため、小学校高学年や中学生にも参加いただける工夫を模索したい。